

「古田武彦」著作物検索 DB の使い方 (Ver.5.0)

----- 古田武彦古代史研究会

著作物検索 DB の使い方

目次

| | |
|--|----|
| 1. 著作物検索 DB とは | 3 |
| 1.1 著作物検索 DB の狙い | 3 |
| 1.2 機能概要 | 3 |
| 1.3 スマートフォンやタブレット端末での本機能のご利用について | 3 |
| 2. 基本操作 | 4 |
| 2.1 まずは検索してみてください編：「キーワード検索（or 検索）」 | 4 |
| 2.2 必要に応じ絞り込んでみてください編：絞り込み「追加キーワード（and 検索）」 | 5 |
| 3. 機能説明（入力） | 6 |
| 3.1 [キーワード] 入力 | 6 |
| 3.1.1 [キーワード] 入力機能（上図①） | 6 |
| 3.1.2 [キーワード] 入力補助（MS-IEM）機能（上図②） | 6 |
| 3.1.3 [類推キーワード補助] 機能（上図③） | 7 |
| 3.2 [キーワー参照] 機能/[追加キーワード参照]機能 | 7 |
| 3.3 便利な機能 [キーワードメモ] 機能 | 8 |
| 3.4 [キーワード検索（or 検索）] での入力単語の削除 | 9 |
| 3.4.1 [一つずつキーワードを削除する] | 9 |
| 3.4.2 [まとめて削除する] | 9 |
| 4. 検索機能（[キーワード検索（or 検索）]機能 ※or 検索=もしくは検索） | 9 |
| 5. 機能説明（絞り込み） | 9 |
| 5.1 「追加キーワード（and 検索）」（*and 検索=かつ検索）での絞り込み | 9 |
| 5.2 「追加キーワード（and 検索）」での入力単語の削除 | 10 |
| 5.3 「著作物種別」絞り込み/「著書名」絞り込み | 10 |
| 5.4 「著作物種別」絞り込み/「著書名」絞り込みでの設定解除 | 10 |
| 6. 機能説明（検索結果一覧表示） | 11 |
| 6.1 検索結果一覧表示 | 11 |
| 6.2 著作物詳細データ表示 | 12 |
| 7. 機能説明（PDF 表示） | 13 |
| 7.1 PDF を表示する/PDF を閉じる | 13 |
| 7.2 PDF 内の Hit 箇所をハイライト表示させる | 13 |
| 7.2.1 PDF 表示内の Hio 箇所について | 13 |
| 7.2.2 複数単語で検索した場合の PDF 表示内の Hit 箇所について | 13 |
| 7.2.3 PDF 上の操作（下記表内の機能は、Adobe Acrobat Reader の機能になります） | 15 |
| 8. 機能説明（画面スクロール） | 16 |

| | |
|--|----|
| 9.機能説明 (クリア) | 16 |
| 10.制約事項 | 17 |
| 11.活用上のご注意 | 17 |
| 11.1 [同意単語] について | 17 |
| 11.2 [同意単語] 例 | 17 |
| 11.2.1 「和風諡(し)号(ごう)」や「諡(おくりな)」また出典による異名称等 | 17 |
| 11.2.2 [カタカナ標記・ひらがな表記] | 18 |
| 11.2.3 [表記違いの同意単語] | 18 |
| 11.3 [IME:インプットメソッドエディター (MS-IME 等)]の単語登録機能 (おすすめ) | 18 |

<図目次>

| | |
|---|----|
| 図 1 会員ページ_著作物検索 DB の利用方法：○部分をクリックします。 | 3 |
| 図 2 著作物検索 DB_キーワード検索窓画面 | 4 |
| 図 3 キーワード検索「天皇」を入力し、検索 Hit した<検索結果一覧>画面 | 4 |
| 図 4 PDF 内の「天皇」の文字列が赤色マーカーでハイライト表示している画面 | 5 |
| 図 5 [絞り込み] をクリックし、<追加キーワードを入力する窓>が表示された画面 | 5 |
| 図 6 [キーワード] 入力画面、各種キーワード入力補助画面 | 6 |
| 図 7 [キーワード入力補助 (MS-IME)] 画面 | 6 |
| 図 8 [類推キーワード入力補助] 画面 | 7 |
| 図 9 キーワード参照 ボタン画面 | 7 |
| 図 10 [キーワード参照] をクリックし、<キーワード一覧>が表示された画面 | 8 |
| 図 11 キーワード検索窓に「神武天皇の東進」と入力した場合 | 8 |
| 図 12 [絞り込み] ボタン | 10 |
| 図 13 絞り込み_著作物種別 著書名を選択する画面 | 10 |
| 図 14 キーワード検索「天皇」で検索した表示された検索結果一覧画面 | 12 |
| 図 15 PDF 表示右上の「ハイライト (完全一致のみ)」が表示されている画面 | 14 |
| 図 16 画面スクロール説明図 | 16 |
| 図 17 クリアボタン説明図 | 16 |

1. 著作物検索 DB とは

1.1 著作物検索 DB の狙い

本、「著作物検索 DB」は、古田武彦の主張や言及テーマに関し「どの著作物のどの頁にその事が記載されているか」を、キーワード（単語）検索にて探し出す目途で作られています。ですので、その表示箇所は、検索単語の Hit 頁の前後 1 頁のみの表示になっています。もし、その該当論文全体を確認されたい場合は、ご自身保有の著作物にて確認されるか、お持ちで無い場合は、図書館での閲覧またはご購入により確認をお願いいたします。

1.2 機能概要

※本マニュアルの画面は PC 版（Windows）での画面説明になります。

- 古田武彦の著作物をキーワード検索（全文検索）、その Hit 頁をリスト表示し、見たい頁をクリックして、PDF 表示することができます。
※本 DB の対象著作物は、現時点主要出版物での論文を対象にしており、新聞・雑誌等の掲載論文は未対応です。また論文は単独論文を対象にしており、対談等は除外しています。
また、主要出版物においても諸事情により検索対象外にしている著作物も一部あります。
（2023 年以降順次対象化予定）
- 「著作物検索 DB」の利用方法は、会員頁 Top（ホーム）より、上部メニューもしくは画面中央の「著作物検索」→「著作物検索 DB」を選択（クリック）します。



図 1 会員ページ_著作物検索 DB の利用方法：○部分をクリックします。

1.3 スマートフォンやタブレット端末での本機能のご利用について

スマートフォンやタブレット端末で本機能をご利用の際は、お使いの OS や画面サイズにより使い勝手が異なる場合があります。縦表示、横表示でご確認いただき、使いやすい表示でご利用をお願いします。尚、縦使いでお使いの場合はその画面サイズにより PDF 表示（後述 7 項）が検索結果一覧表示の最下部に表示されます。

2. 基本操作

2.1 まずは検索してみてください編：「キーワード検索 (or 検索)」

- 検索の基本フローは下記になります。

(1) [キーワード検索 (or 検索)]窓にキーワード入力



図 2 著作物検索 DB_キーワード検索窓画面

(2) (検索ボタン) をクリック

(3) <検索結果一覧 (Hit 頁一覧) 表示>

※検索語の Hit 個所が、赤文字で表示されます。



図 3 キーワード検索「天皇」を入力し、検索 Hit した<検索結果一覧>画面

(4) (見たい頁をクリック) ※図 3、図 4 は、P271 を選択した場合

(5) <対象頁表示 (PDF) >

※PDF 内での検索語の Hit 個所が、赤色マーカーでハイライト表示されます。

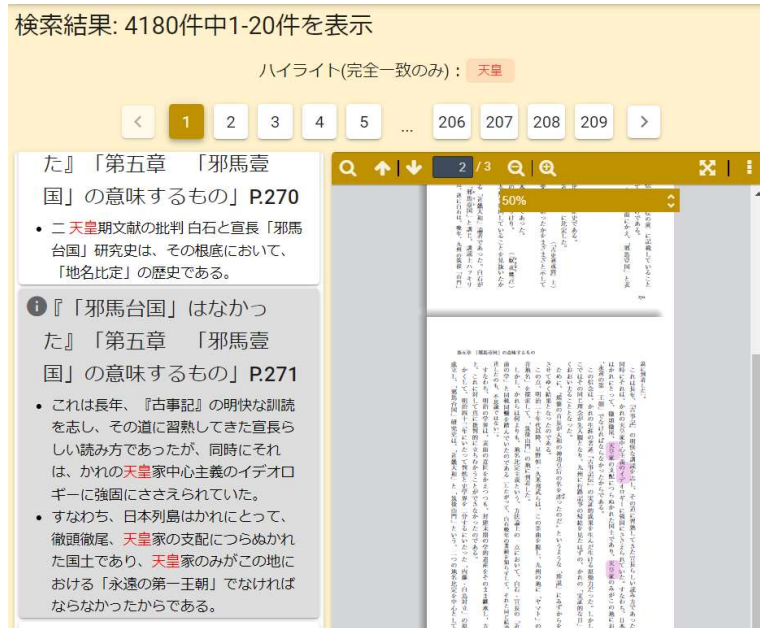


図 4 PDF 内の「天皇」の文字列が赤色マーカーでハイライト表示している画面

2.2 必要に応じ絞り込んでみてください編：絞り込み「追加キーワード (and 検索)」

- [キーワード検索 (or 検索)] で Hit した頁が多すぎる場合、また目指す頁にたどり着く為により絞り込みたい場合は、「追加キーワード (and 検索)」で絞り込むことができます。
- 「追加キーワード (and 検索)」の基本フローは下記です。
 - (1) 検索結果が表示されている状態 (検索結果一覧が表示されている状態) で、[絞り込み] をクリックします。
 - (2) <追加キーワードを入力する窓が表示される>



図 5 [絞り込み] をクリックし、<追加キーワードを入力する窓>が表示された画面

- (3) 「追加キーワード (and 検索)」窓にキーワードを入力
- (4) (検索ボタン) をクリック
- (5) <絞り込み検索結果一覧 (絞り込み Hit 頁一覧) 表示>

※ (1) の検索結果の中から (2) で入力した検索語を含む頁のみが一覧表示されます。(*and 検索 = かつ検索)

3. 機能説明 (入力)

3.1 [キーワード] 入力

/ [キーワード入力補助 (MS-IME)] 機能 ※Windows 標準搭載 IME の場合

/ [類推キーワード入力補助] 機能

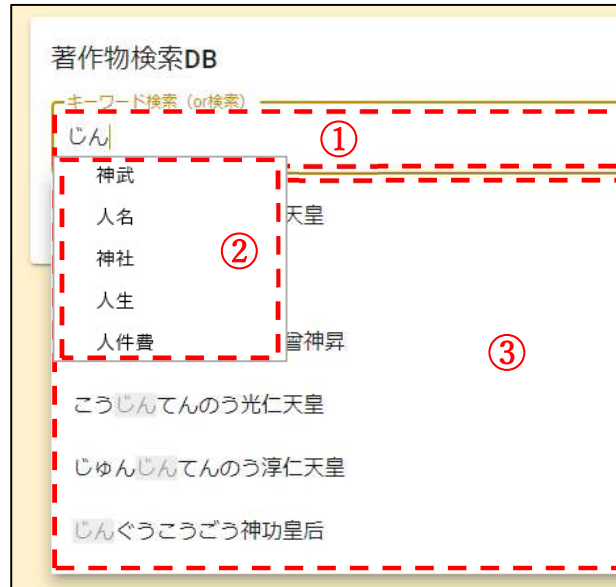


図 6 [キーワード] 入力画面、各種キーワード入力補助画面

3.1.1 [キーワード] 入力機能 (上図①)

キーワード検索 (or 検索) 窓に、検索したい文字 (キーワード) を入力できます。

※追加キーワード (and 検索) 窓の場合も同じです。

3.1.2 [キーワード] 入力補助 (MS-IME) 機能 (上図②)

①に入力した文字の変換候補を MS-IME が表示します。スペースキー連続押下による候補選択か、もしくは②枠内にカーソルをあわせマウスロールでスクロール、もしくは②枠内右のサイドバーをカーソルで動かすことで候補文字を探し、マウスクリックにより選択します。変換候補選択の後、リターン (Enter) キーを押すことで検索キーワードが確定します。

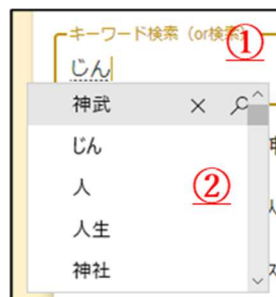


図 7 [キーワード入力補助 (MS-IME)] 画面

3.1.3 [類推キーワード補助] 機能 (上図③)

①のキーワード検索 (or 検索) 窓でマウスを 1 回クリックする事で、③の[類推キーワード補助]機能が選択できるようになります。この類推キーワードは、検索対象の「著作物検索 DB」内の著作物データの中から、検索エンジンが類推したキーワード候補を表示します。③枠内にカーソルをあわせマウスロールでスクロール、もしくは③枠内右のサイドバーをカーソルで動かすことで候補文字を探し、マウスクリックにより選択する事で検索キーワードが確定します。

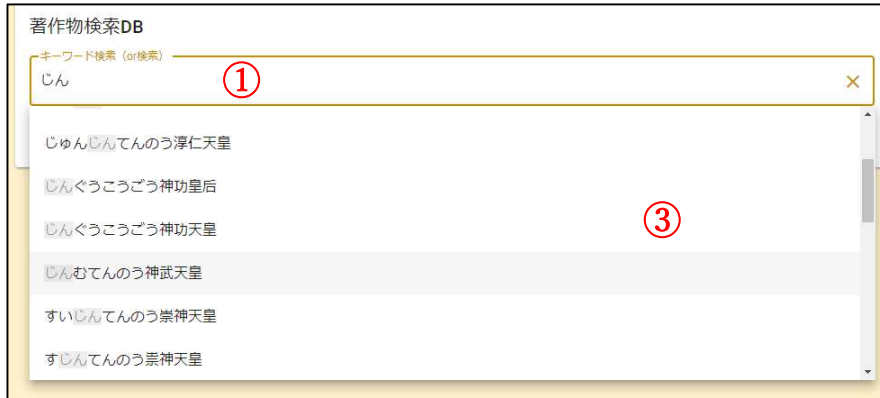


図 8 [類推キーワード入力補助] 画面

3.2 [キーワー参照] 機能/[追加キーワード参照]機能

- 漢字入力が難しそうな単語は、一部キーワード参照に登録されていますので、漢字変換する事無く、単語選択をして[キーワード検索 (or 検索)]/[追加キーワード参照]窓に入力する事ができます。

使い方は下記になります。(以下は [キーワード検索 (or 検索)] 窓の例)

- (1) キーワード検索窓の右横にある [キーワード参照] をクリックします。



図 9 キーワード参照 ボタン画面

- (2) <キーワード一覧が表示される>



図 10 [キーワード参照] をクリックし、<キーワード一覧>が表示された画面

- (3) 入力したいキーワード種別 [人名] [地名] [事項] を選び、クリックします。
- (4) <選んだキーワード種別のキーワードが、五十音順に表示される>
- (5) 検索したい単語をクリックし、画面下の [入力] をクリックすると、[キーワード検索 (or 検索)] 窓にセットされます。
※単語は複数選択可能です。

3.3 便利な機能 [キーワードメモ] 機能

- 検索窓に入力したキーワードは、右上に「キーワードメモ」として表示されます。
この文字は、テキストなので、コピーして使うことが可能です。
- 例えばキーワードに「神武天皇の東進」と入れて検索したが、「神武天皇の東侵」とキーワードを入れ直したい場合。



図 11 キーワード検索窓に「神武天皇の東進」と入力した場合
キーワードメモ画面 (○部分)

- (1) キーワードメモ「神武天皇の東進」をマウスで指定し、右クリック→コピーします。

(2)キーワード検索窓に「貼り付け」し、「進」を「侵」の字に変更し、[リターン (Enter)] キーを押します。

(3)もし「神武天皇の東進」が不要ならば、キーワードの後ろの **✕** をクリックし、不要なキーワードを削除します。

3.4 [キーワード検索 (or 検索)] での入力単語の削除

- 入力単語は以下の方法で削除できます。

3.4.1 [一つずつキーワードを削除する]

キーワードの後ろの **✕** をクリックすると、入力したキーワードを一つずつ削除することができます。

3.4.2 [まとめて削除する]

キーワード検索窓の右端にある✕をクリックすると、キーワード検索窓に入力されているキーワードをまとめて削除することができます。

([クリア]ボタンをクリックすることでも削除できますが、その際は「絞り込み検索」を含むすべての設定が解除になります)

4. 検索機能 ([キーワード検索 (or 検索)]機能 ※or 検索=もしくは検索)

- [キーワード検索 (or 検索)]窓に入力の語彙は、フリーワードで複数単語入力でき、その単語を含む Hit 頁を付加して表示します。
<例>「神武東侵」だけで検索だと 53 件 Hit。「神武東侵」「神武東征」2 単語だと 131 件 Hit
- 本「(or 検索)」では、単語解析アルゴリズムにより「神武東征」などは「神武」(が)「東征」(した)と判断し、「神武東征」を含め「神武」「東征」などそれぞれの単語でも検索し、まずは幅広くひろう (Hit させる) 作りになっています。

5. 機能説明 (絞り込み)

5.1 「追加キーワード (and 検索) (*and 検索=かつ検索) での絞り込み

- 「キーワード検索 (or 検索)」結果一覧に対し、「追加キーワード」での絞り込みが可能です。(複数単語可能)
<例>「神武東侵」「神武東征」2 単語で Hit した 131 件に対し「五瀬命」の記載個所で絞り込むと 13 件に絞り込めます。
- 「追加キーワード (and 検索)」での絞り込みは、複数単語で可能です。
<例>「神武東侵」「神武東征」2 単語で Hit した 131 件に対し「五瀬命」かつ「南方」の

2 単語の記載個所で絞り込むと 4 件に絞り込めます。

5.2 「追加キーワード (and 検索)」での入力単語の削除

- 3.4 [キーワード検索 (or 検索)]での入力単語の削除 に同じです。

5.3 「著作物種別」絞り込み/「著書名」絞り込み

- 検索結果をフリーワード以外で「著作物種別」と「著書名」で絞り込めます
- 「著作物種別」絞り込み検索/「著書名」絞り込み検索の基本フローは下記です。
 - (1) 検索結果一覧リストが表示されている状態で、[絞り込み] をクリックします。



図 12 [絞り込み] ボタン

(2) <著作物種別 著書名を選ぶ画面が表示される>



図 13 絞り込み_著作物種別 著書名を選択する画面

(3) 著作物種別をクリックすると、絞り込む前の検索結果の著作物種別と件数が、著書名をクリックすると、絞り込む前の検索結果の著書名と件数が表示されるので、絞り込みたい条件の□をクリックし、チェックを入れます。

※「著作物種別」絞り込み検索、「著書名」絞り込み検索ともに選択は 1 つまでです。

(4) [検索] をクリックします。

(5) <絞り込み検索結果一覧が表示される>

※ (1) の検索結果の中から (2) でチェックした条件の絞り込み検索結果が一覧表示されます。「追加キーワード (and 検索)」と同じく (and 検索) 結果の表示。

5.4 「著作物種別」絞り込み/「著書名」絞り込みでの設定解除

- 選択後に表示される[解除]ボタンをクリックして解除します。

(をクリックし、チェックをはずすことで解除、および再選択もできます。)

6. 機能説明 (検索結果一覧表示)

6.1 検索結果一覧表示

- [キーワード検索 (or 検索)] や「追加キーワード (and 検索)」の検索結果を一覧表示します。
- 検索単語の Hit した著作物名、章立て、頁を表示し、検索単語の Hit 箇所は赤文字表示されます。
- 表示の頁はデータベースに取り込んだ著作物の頁になります。著作物詳細は「著作物詳細データ表示」機能にて確認できます (「6.2 著作物詳細データ表示」参照)。
- 検索結果一覧表示内での赤文字表示は、構文解析による推測単語の Hit 表示を含みます。
(例: 「神武の行路」で検索した場合、一覧表示では「神武の行路」「神武」「行路」などが赤色マーカー表示されます)。
- 一度に表示される検索結果一覧は、一覧表示 1 頁あたり 20 件になります。それ以上の検索結果に関しては、検索結果一覧の上段にある検索結果一覧表示頁を選択する事で閲覧可能です。

6.2 著作物詳細データ表示

- 検索結果一覧表示の各著作物表示の左上にある **i** マークをクリックすると、Hit した著作物の詳細データが確認できます。

著作物検索DB

キーワード検索 (OR検索) キーワードメモ: 天皇

絞り込み

検索 クリア

検索結果: 4180件中1-20件を表示

< 1 2 3 4 5 ... 206 207 208 209 >

i 『邪馬台国』はなかった』第一章 それは『邪馬台国』ではなかった』 P.63
 ・すなわち、天皇が中国の天子に臣従するような事態を容認しえない、という心情があった。

i 『『邪馬台国』はなかった』第五章 『邪馬台国』の意味するもの』 P.270
 ・二 天皇期文献の批判 白石と宣長『邪馬台国』研究史は、その根底において、「地名比定」の歴史である。

| 著作物種別 | 本文 |
|-------------|-------------|
| 著書名 | 『邪馬台国』はなかった |
| 副題/(编者) | 解読された倭人伝の謎 |
| 巻情報 | 古代史コレクション1 |
| 著作物(論文)タイトル | 『邪馬台国』はなかった |
| 現出版社名 | ミネルヴァ書房 |
| 発表年(初出) | 1971 |

図 14 キーワード検索「天皇」で検索した表示された検索結果一覧画面

一行目『『邪馬台国』はなかった』第一章 それは『邪馬台国』ではなかった P.63 の **i** マークをクリックした画面

7. 機能説明 (PDF 表示)

7.1 PDF を表示する/PDF を閉じる

- 検索結果一覧から PDF を表示させる、また PDF を閉じる基本操作は下記になります。
 - (1) 検索結果が表示されている状態 (検索結果一覧が表示されている状態) で、見たい著作物をクリックする。(選択対象著作物がグレー色になります)
 - (2) <画面右側に著作物の PDF が最大 3 ページ表示される>
 - ※基本的に、検索 Hit したページの、前後 1 ページ (合計 3 ページ) を表示しますが、検索ヒットしたページの前後のページが古田武彦の論文で無い場合はそれらを表示しないようにしていますので、2 頁表示の場合もあります。
 - ※画面サイズの小さいスマートフォン等での縦使いの場合は、一覧表示最下段に表示されます。
 - ※表示の頁はデータベースに取り込んだ著作物の頁になります。著作物詳細は「著作物詳細データ表示」機能にて確認できます (「6.2 著作物詳細データ表示」参照)。
 - (3) (非表示にする場合) PDF 表示画面の右上の✖ボタンをクリックする
 - (4) <検索結果一覧表示に戻る>

7.2 PDF 内の Hit 箇所をハイライト表示させる

7.2.1 PDF 表示内の Hit 箇所について

- PDF 表示内の Hit 箇所は、検索単語でかつ完全一致した単語を 1 種のみ赤色マーカーでハイライト表示されます。
 - ※一覧リスト表示での赤色マーカー表示と PDF 表示内での赤色マーカー表示は異なる事があります。検索結果一覧表示内での赤文字表示は、構文解析による推測単語の Hit 表示を含みますが、PDF 表示では、検索窓に入力した単語の完全一致した単語のみハイライト表示する為です (Adobe Acrobat Reader の固有機能)。(例:「神武の行路」で検索した場合、一覧表示では「神武の行路」「神武」「行路」などが赤色マーカー表示されますが、PDF では単語完全一致の「神武の行路」のみが赤色マーカー表示されます。)

7.2.2 複数単語で検索した場合の PDF 表示内の Hit 箇所について

複数単語での検索、または絞り込み検索した場合は、1 単語のみ赤色マーカーでハイライト表示されます。Hit 箇所を切り替えたい場合は、PDF 表示右上の「ハイライト (完全一致のみ)」に表示の検索単語を切り替え選択する事で、赤色マーカー表示 (Hit 箇所) を切り替える事ができます。

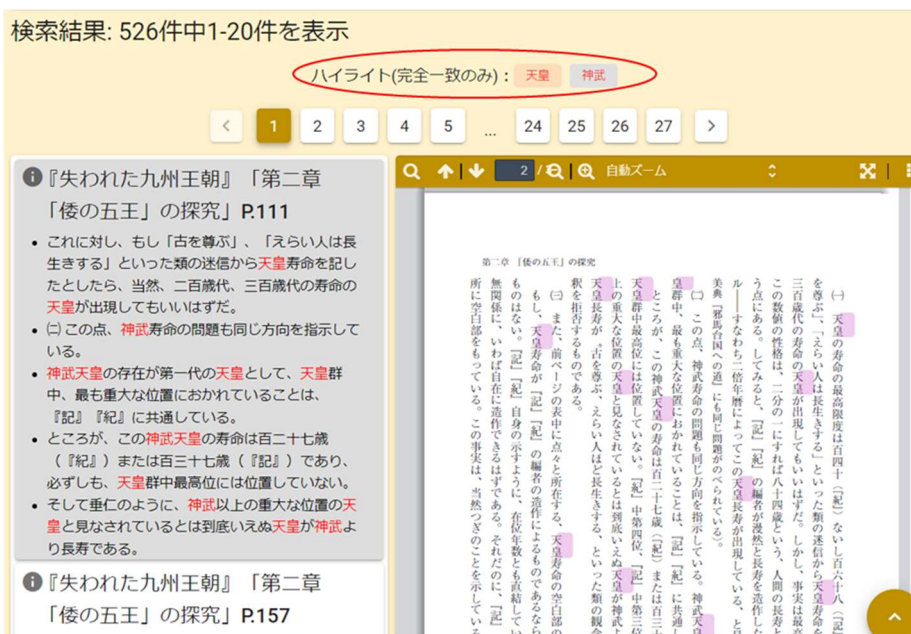


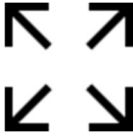






図 15 PDF 表示右上の「ハイライト (完全一致のみ)」が表示されている画面

7.2.3 PDF 上の操作（下記表内の機能は、Adobe Acrobat Reader の機能になります）

- PDF 上部の茶色のツールバーの各機能は次の通りです。

| アイコン | 機能 | 操作など |
|---|---|---|
|  | PDF を閉じる | マウスクリックする。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ・[テキスト選択ツール]を選ぶ ※テキストを選択できます ・[手のひらツール]を選ぶ ※PDF の見たい部分を手のひらツールで動かすことができます。拡大表示などの際に便利です。 | <p><テキスト選択ツール> マウスクリックし、「テキスト選択ツール」を選択後、コピーしたい文字列をマウスで選び、右クリック→[コピー] 選ぶ。 ※本機能は横書きを前提としたつくり（Adobe Acrobat Reader の機能）になっていますので、文字選択は、横書きの文字を 1 文字ずつ縦に指定しているような動きになります。</p> <p><手のひらツール> マウスクリックし、「手のひらツール」を選択する。</p> |
|  | PDF を全画面表示する | マウスクリックする。 [ESC] キーで、解除。 |
| 自動ズーム | PDF の表示の大きさを変更する。 | マウスクリックし、見たい大きさを選択する。 |
|  | PDF を拡大表示する | マウスクリックを繰り返す。 |
|  | PDF を縮小表示する | マウスクリックを繰り返す。 |
|  | 次のページに移動 | マウスクリックする。 次のページが無い場合は、このボタンは機能しない。 |
|  | 前のページに移動 | マウスクリックする。 前のページが無い場合は、このボタンは機能しない。 |
|  | PDF 内を検索する | 検索窓に検索したい任意のキーワードを入力すると、そのキーワードが表示中の PDF 内に存在する場合、赤色マーカー表示される。(眼鏡マークを再クリックする事で結果表示を消す事ができます。) |

8. 機能説明（画面スクロール）

- 画面は下記図 A（ベース画面）、B（検索結果一覧表示画面）、C（PDF 表示画面）それぞれ3つのエリアごとに独立してスクロールできます。
 - スクロールは、対象画面にマウスを合わせてマウスホイールをロールさせるか、もしくは画面エリアごとの右端にあるスクロールバーを移動させることでスクロールできます。
- ※B（一覧表示画面）の最上部及び最下部は、マウスホイールのスクロールの際は、検索項目を再設定しやすくするために、A（ベース画面）と連動して動く仕様になっています。

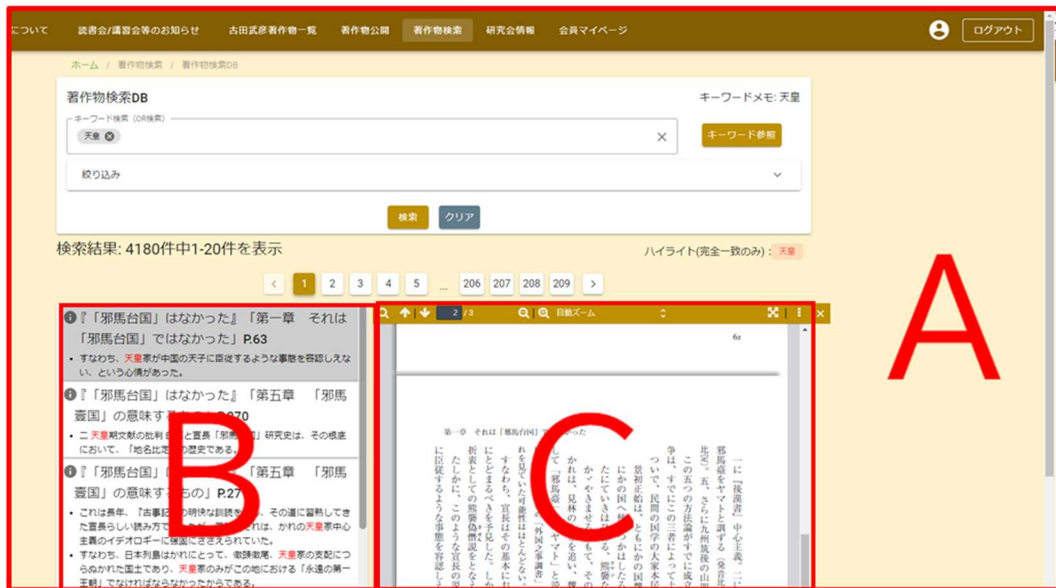


図 16 画面スクロール説明図

9. 機能説明（クリア）

- クリアボタンを押すことで、全ての設定単語、設定項目及び表示がクリアになります。



図 17 クリアボタン説明図

10. 制約事項

- 元本においてルビ、カッコ付き文の前後はうまく検索 Hit しない場合があります。
- 検索結果一覧表示内での赤文字表示は、単語解析アルゴリズムにより検索した結果をマーカー表示しています。そのため、検索語及び検索語に含まれる文字が Hit 文字として赤文字表示されています。一方、PDF 表示内でのマーカー表示は、Adobe Acrobat Reader の検索機能によるマーカー表示のため、検索語と「完全一致」した文字列のみをマーカー表示しており、検索結果一覧表示と、表示箇所には差異が出ます。
- 表組、図表の解説は、基本的に検索対象としていません。
- PDF 表示において印刷はできない仕様になっています。

11. 活用上のご注意

11.1 [同意単語] について

- 例えば「神武東侵」に関してする論文・記述を調べたい場合は、「神武東侵」だけでは目的とする記載箇所を拾えない場合があります。最初の検索では、「神武東侵」「神武東征」「神武東進」「神武征服譚」など、調べたい内容の同意単語を、まずは（「キーワード検索 (or 検索)」窓に複数入力し、該当箇所以外の可能性もある箇所をひろく Hit させ、その中から目的の箇所に絞り込む方法が有効です。

他方、類推検索エンジンにより不要な単語を Hit させてしまう場合や、単語を追加しても Hit 件数が増えないなどの弊害も単語によりもありますので、用途に応じて工夫ください。

11.2 [同意単語] 例

11.2.1 「和風諡(し)号(ごう)」や「諡(おくりな)」また出典による異名称等

例えば「神武天皇」に関する論文・記述を調べたい場合は、同意名称の「神武天皇」「彦火火出見」「狭野」「狭野尊」「神日本磐余彦天皇」「神日本磐余彦火火出見尊」「磐余彦火々出見尊」「磐余彦尊」「磐余彦帝」「神倭伊波礼毘古命」「若御毛沼命」「豊御毛沼命」「始馭天下之天皇」などは Hit しません。目的の記述箇所が、単語より異なる可能性がありますので必要に応じ複数の単語を「キーワード検索 (or 検索)」窓に入力してください。

(例:「神武天皇」(519 件) → 「彦火火出見」(535 件) → 「狭野」(547 件) → 「狭野尊」(547 件) → 「神日本磐余彦天皇」(548 件) → 「神日本磐余彦火火出見尊」(548 件) → 「磐余彦火々出見尊」(548 件) → 「磐余彦尊」(549 件) → 「磐余彦帝」(551 件) → 「神倭伊波礼毘古命」(560 件) → 「若御毛沼命」(564 件) → 「豊御毛沼命」(564 件) → 「始馭天下之天皇」(567 件)

※数字は 1 単語ずつ検索単語を増やした場合の Hit 頁件数

11.2.2 [カタカナ標記・ひらがな表記]

例えば「伊耶那岐」で検索してもカタカナで書かれた「イザナギ」の箇所は Hit しません。目途によりカタカナ標記やひらがな表記を検索単語に追加することも有効です。

(例：「伊耶那岐」(42 件) → 「伊耶那岐」(43 件) → 「伊弉諾」(46 件) → 「伊奘奈岐」(47 件) → 「イザナギ」(97 件) → 「いざなぎ」(106 件))

※数字は 1 単語ずつ検索単語を増やした場合の Hit 頁件数

11.2.3 [表記違いの同意単語]

例えば「柿本人麻呂」で検索しても「柿本人麿」で書かれた箇所は Hit しません。検索の目途にもよりますが、最初は「柿本人麻呂」及び「柿本人麿」等を入力し、その検索結果を見て、条件を加え絞り込む方法をお勧めします。

(例 1：「柿本人麻呂」(23 件) → 「柿本人麿」(152 件))

(例 2：「太安麻呂」(1 件) → 「太安万侶」(65 件) → 「太安萬侶」(71 件))

※数字は 1 単語ずつ検索単語を増やした場合の Hit 頁件数

11.3 [IME:インプットメソッドエディター (MS-IME 等)]の単語登録機能 (おすすめ)

※以下は Windows パソコンの例

- 古代史関連の単語は、一発で単語変換できない単語が多く存在します。入力支援機能 [MS-IME] (Windows 標準搭載) 等への事前単語登録が便利です。
- 読みが難しい漢字、変換が困難な漢字は[IME パッド]の活用により、(漢字特定) → ([MS-IME 他]への単語登録) を事前に行っておくと便利です。

※[MS-IME 他]の単語登録機能、[IME パッド]の活用方法につきましては、Web 公開されている個別のマニュアル等をご参照願います。

以上